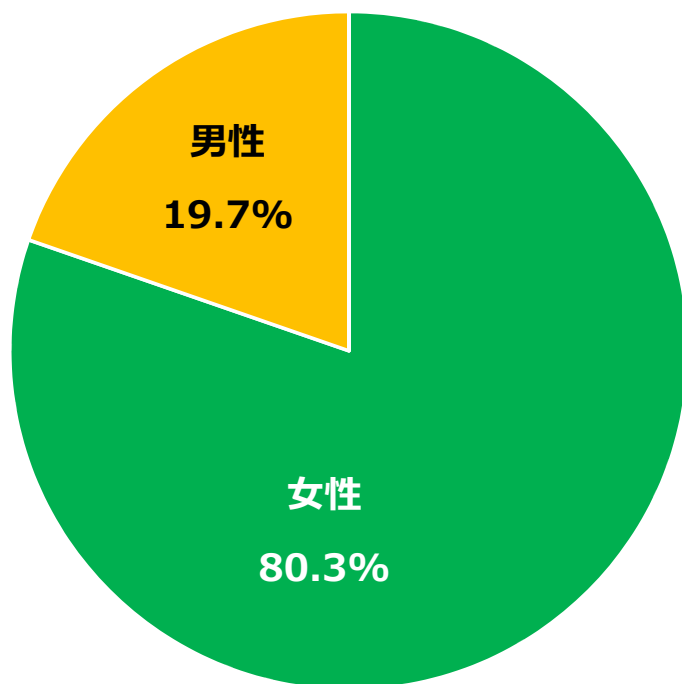




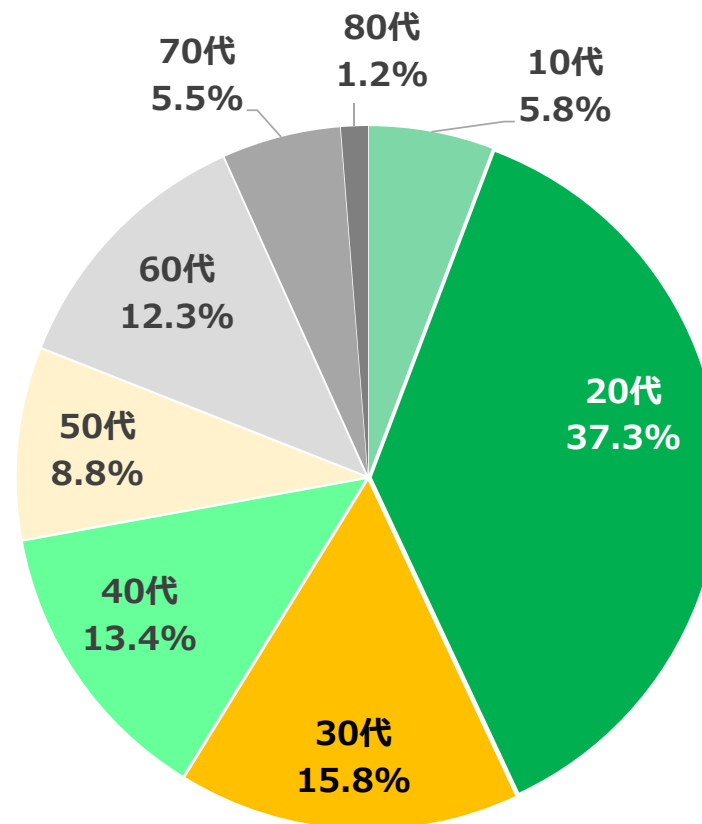
**日本財団ウクライナ避難民支援  
アンケート結果  
(第4回)**

## 男女比

※アンケート回答者の男女比。日本財団の支援対象者の男女比は男性：25%、女性75%



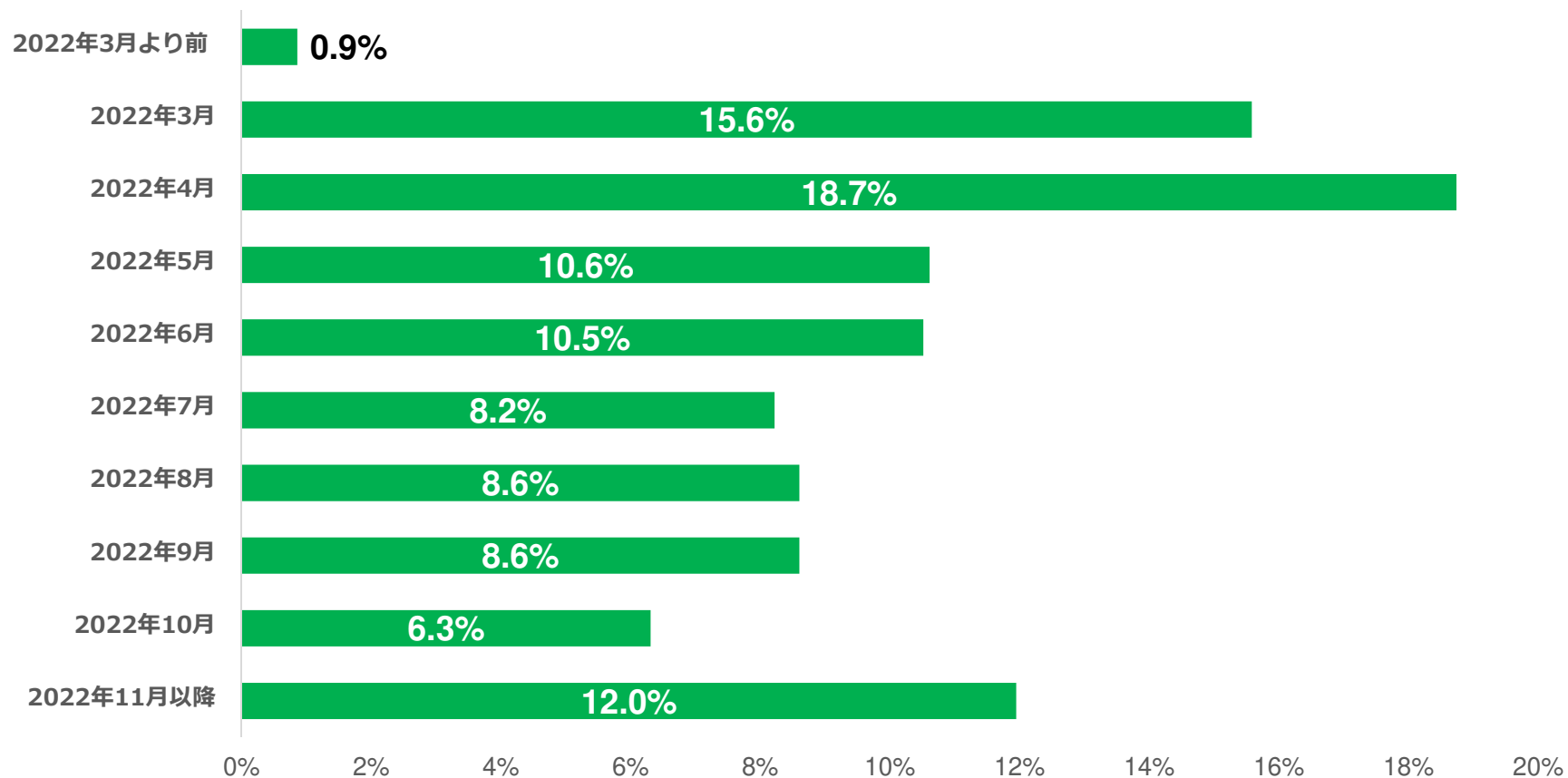
## 年代



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

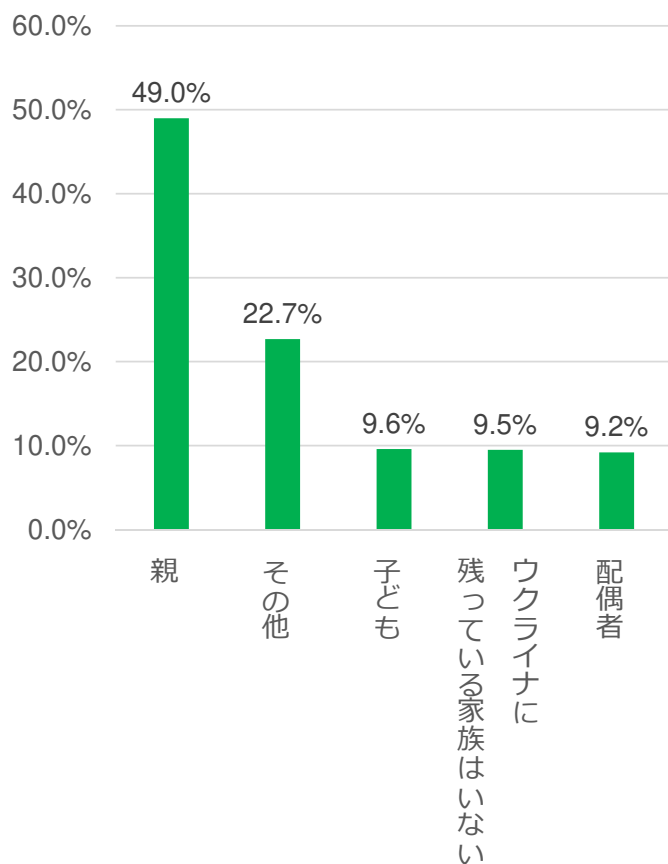
# アンケート結果：来日時期

## 来日時期

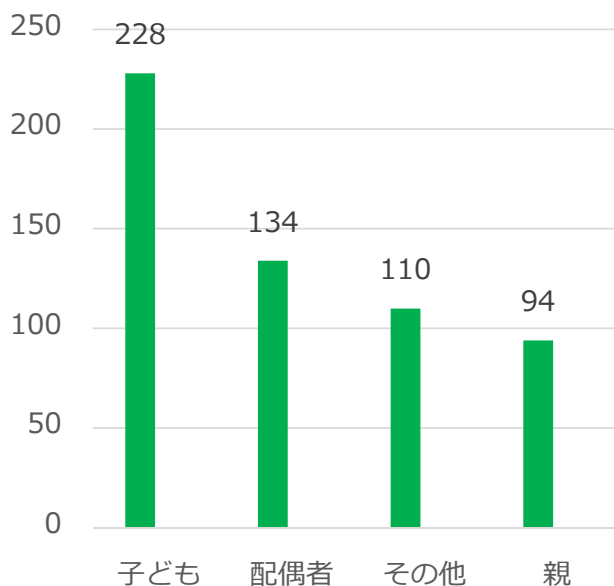


アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

## ウクライナに残っている家族

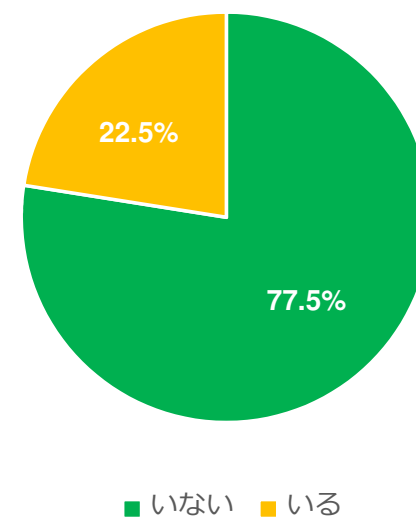


## 一緒に避難した家族



## 17歳以下の子どもと一緒に避難しているか

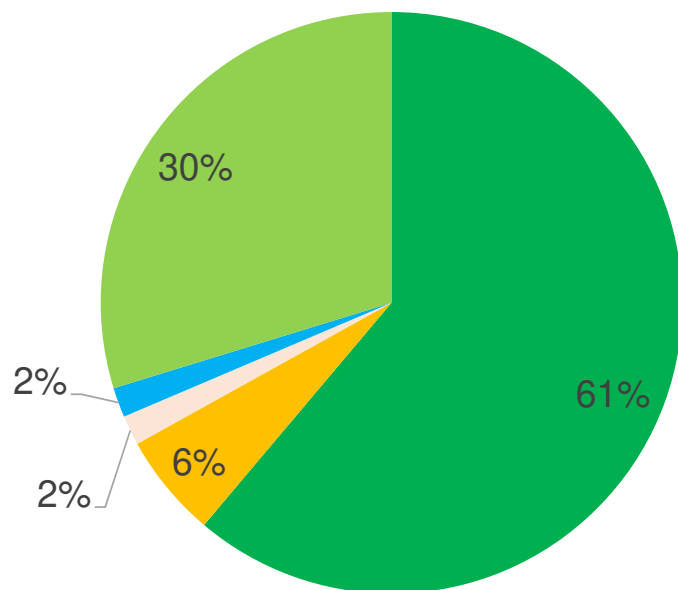
いる：22.5%、いない：77.5%



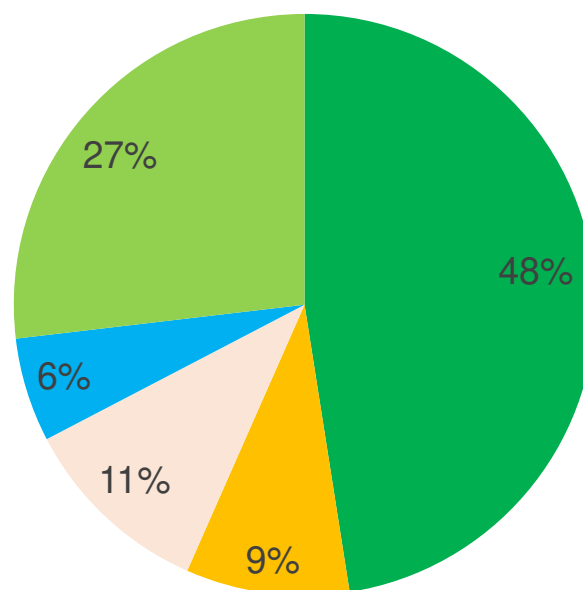
アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

# アンケート結果：子どもの学校教育の状況

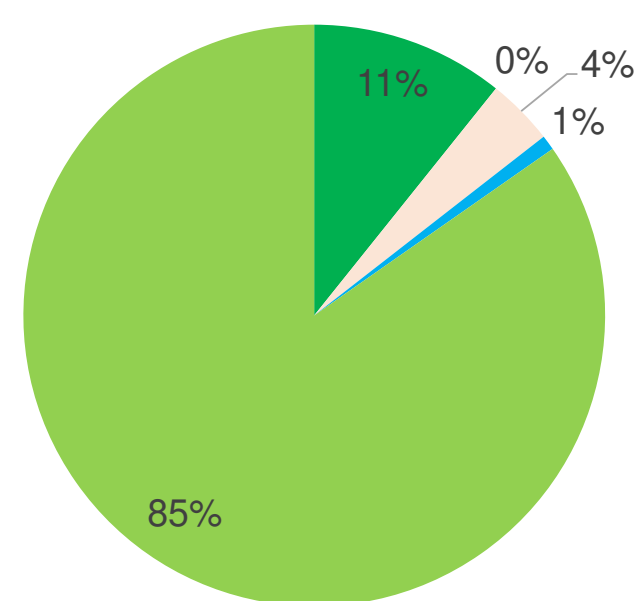
## 日本の学校



## ウクライナの学校 (オンライン)



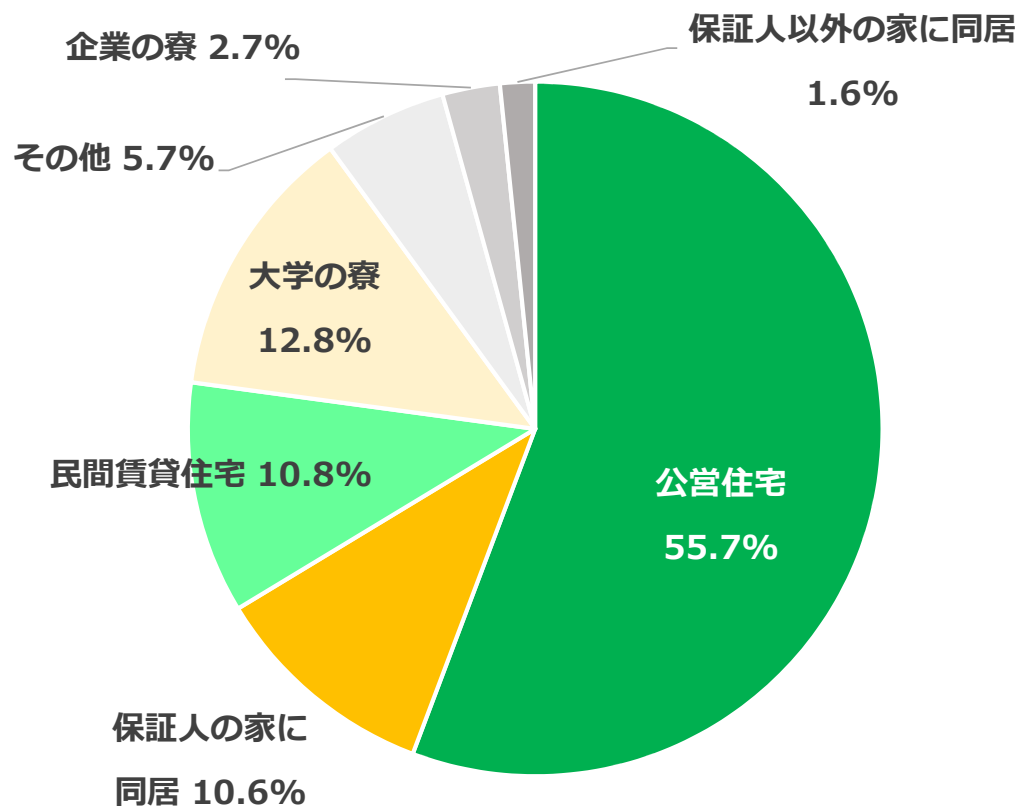
## 日本の外国人学校 (インターナショナルスクール等)



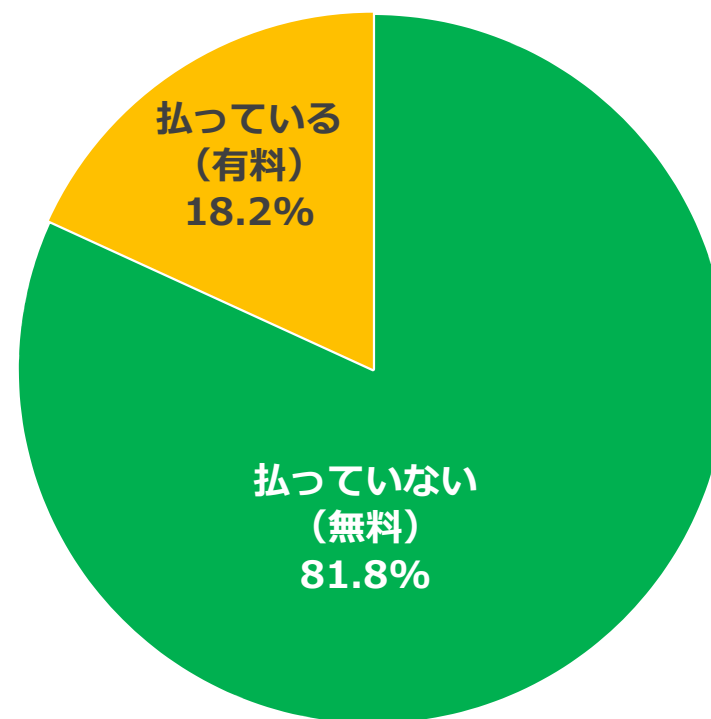
■ 毎日 ■ しばしば(週3~4回) ■ たまに(週1~2回) ■ 特定の教科だけ ■ 教育を受けていない

アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日~8月30日  
※上記対象者のうち、子どもが就学年齢（6歳から17歳）の方187人が回答

### どのような家に住んでいるか

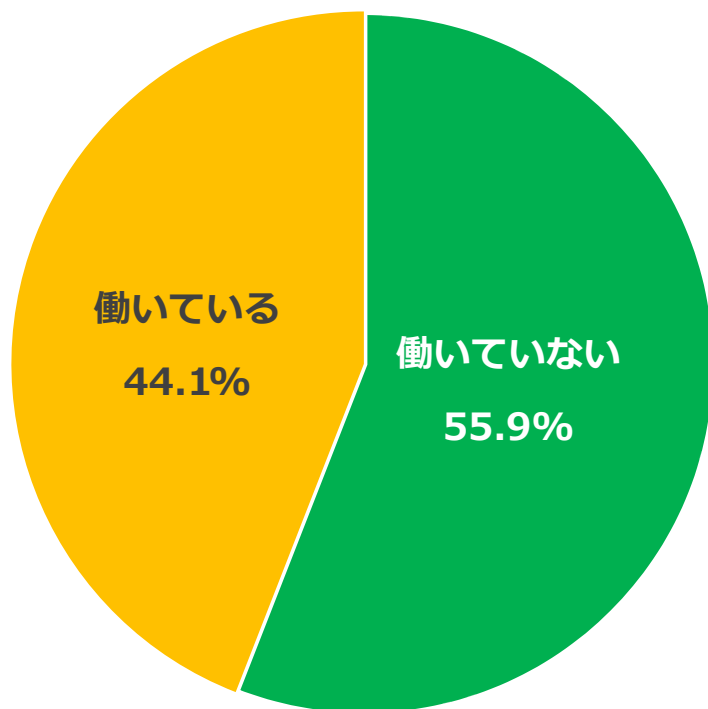


### 家賃を払っているか

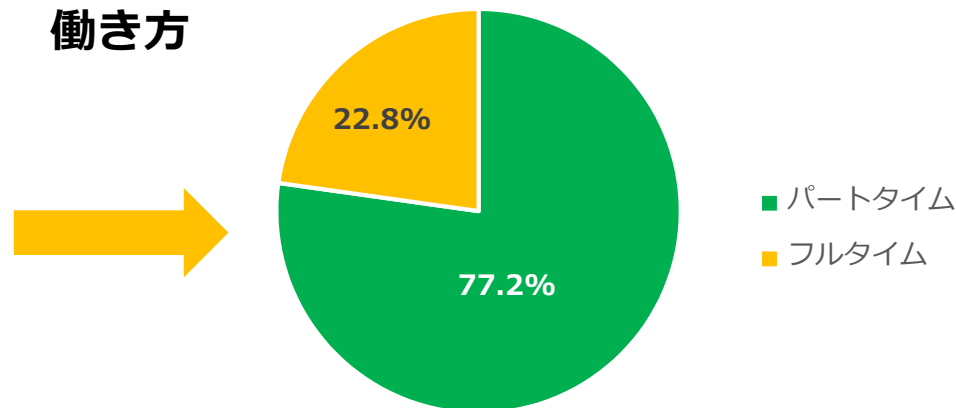


アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

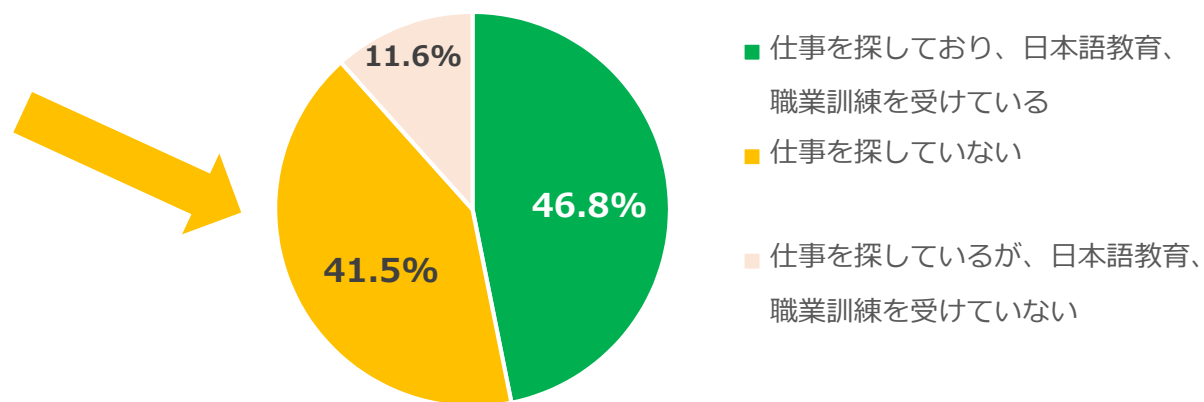
### 働いているか



### 働き方



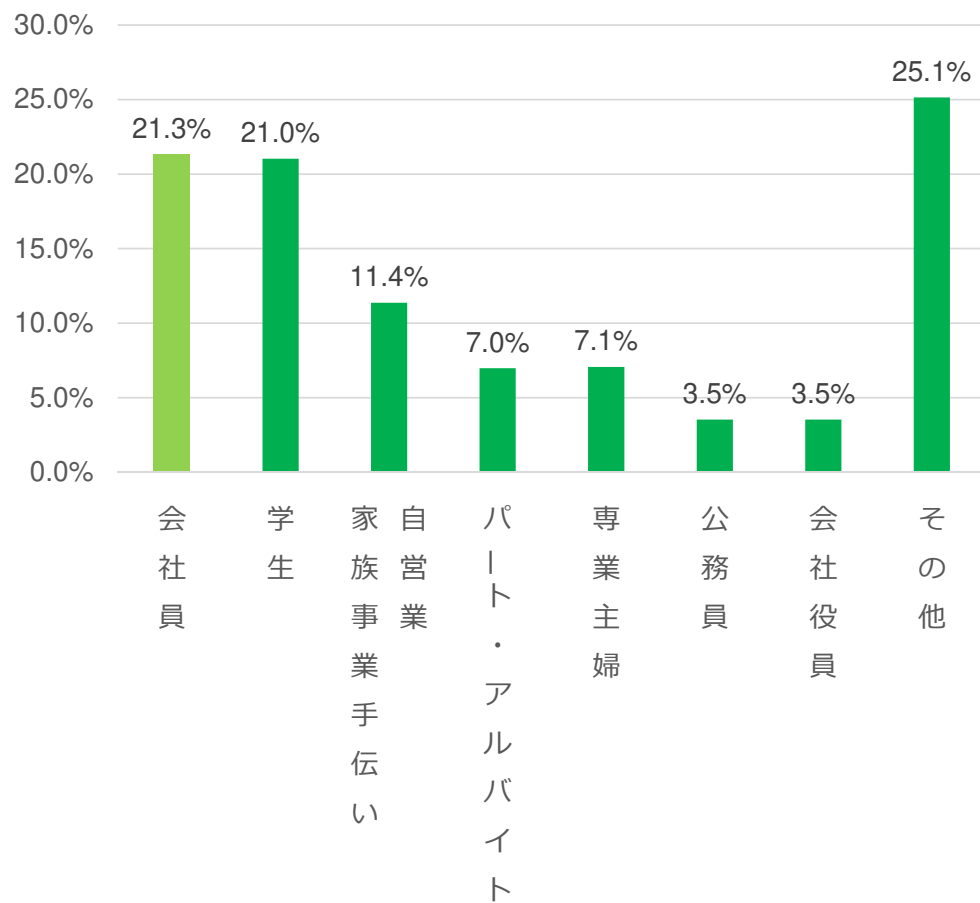
### 働いていない場合の状況



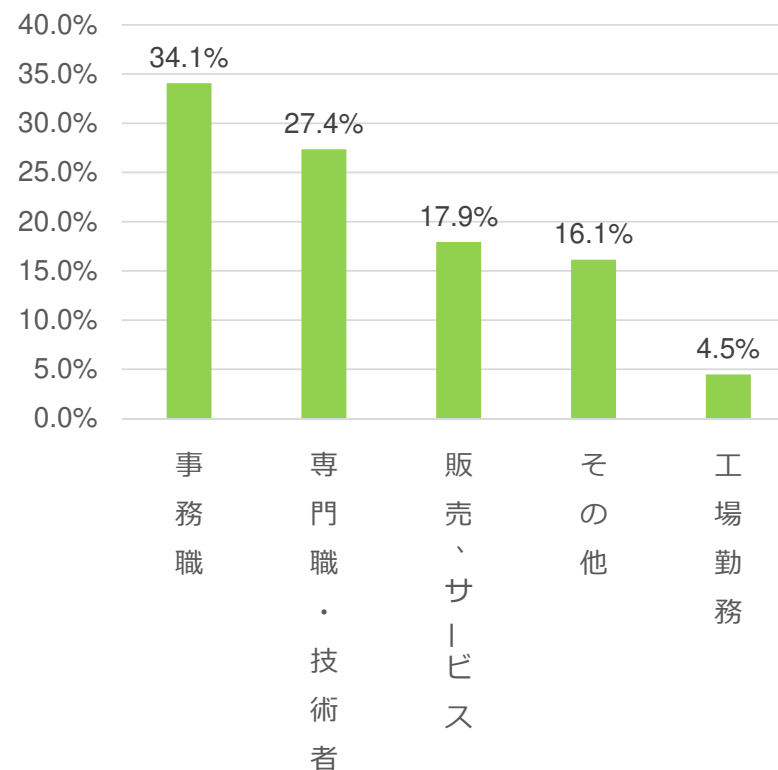
アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

# アンケート結果：ウクライナでの状況

## ウクライナでの職業



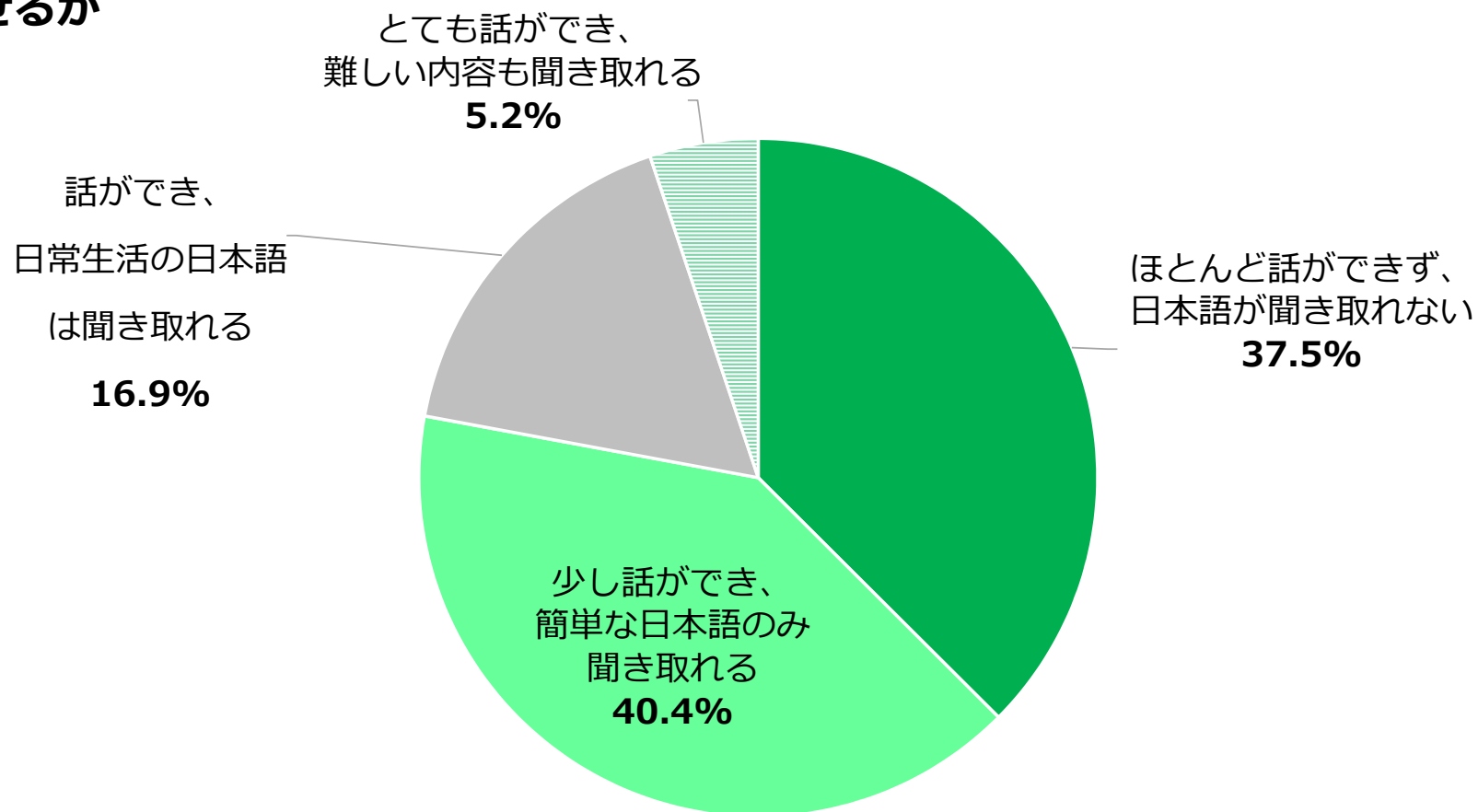
## 会社員内訳



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

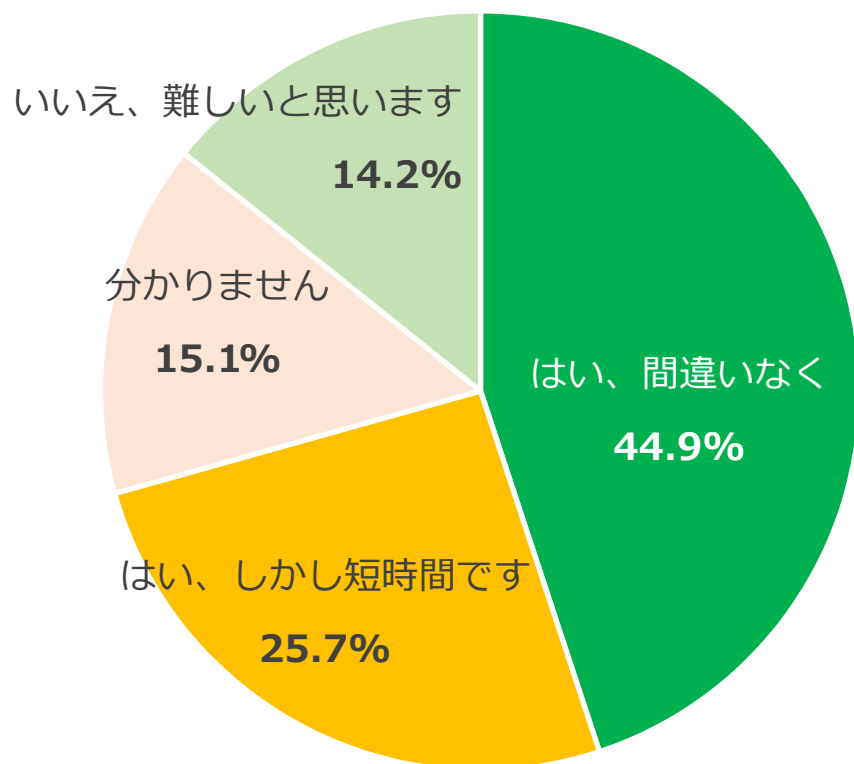


## 日本語が話せるか

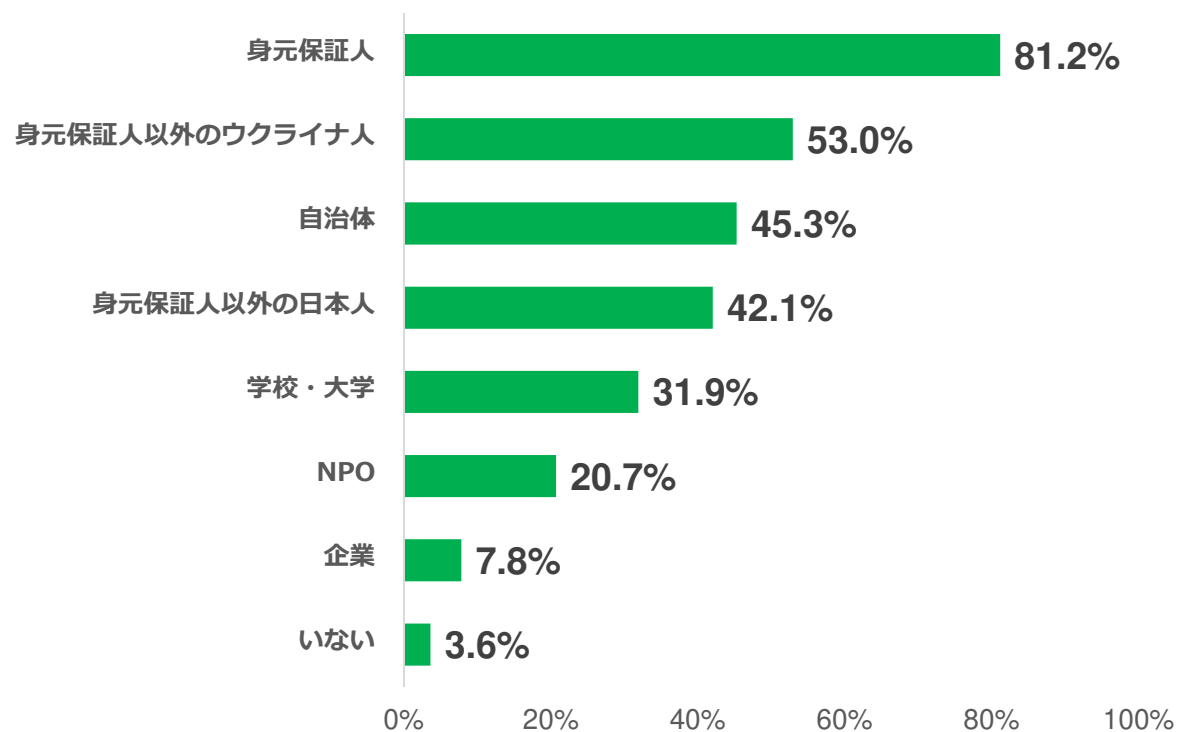


アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

### 身元保証人にサポートする余裕があるか



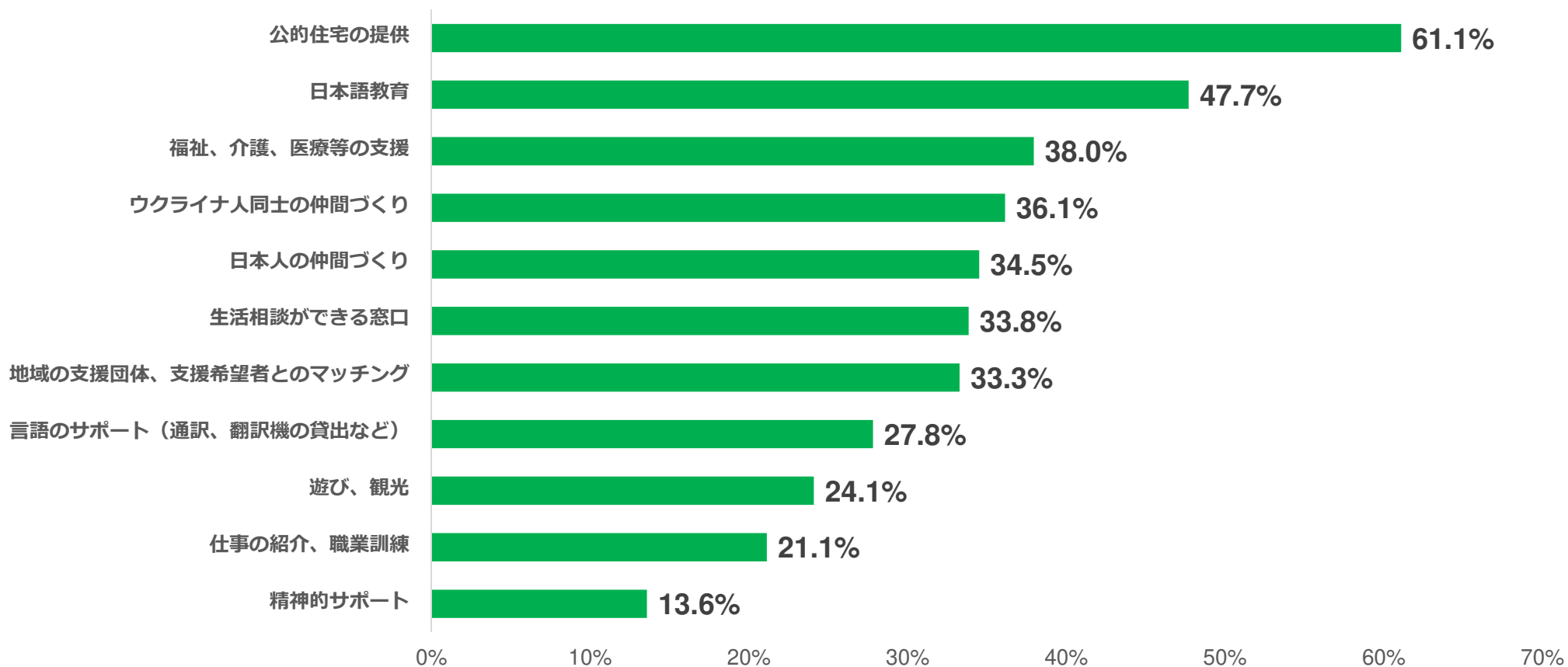
### 困ったときに相談できる存在（複数回答）



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

## アンケート結果：受けている支援

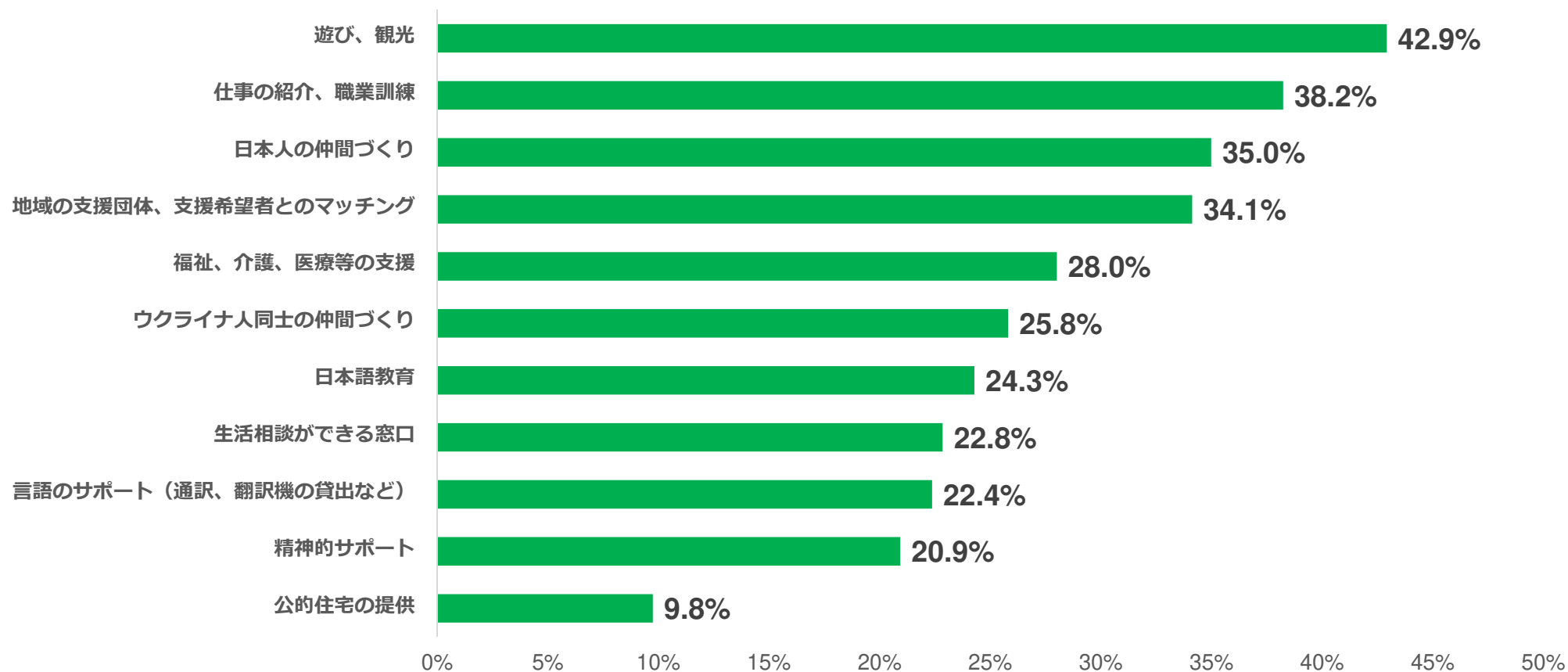
### 給付金、生活物資の提供以外で、受けている支援は何ですか。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

## アンケート結果：必要な支援

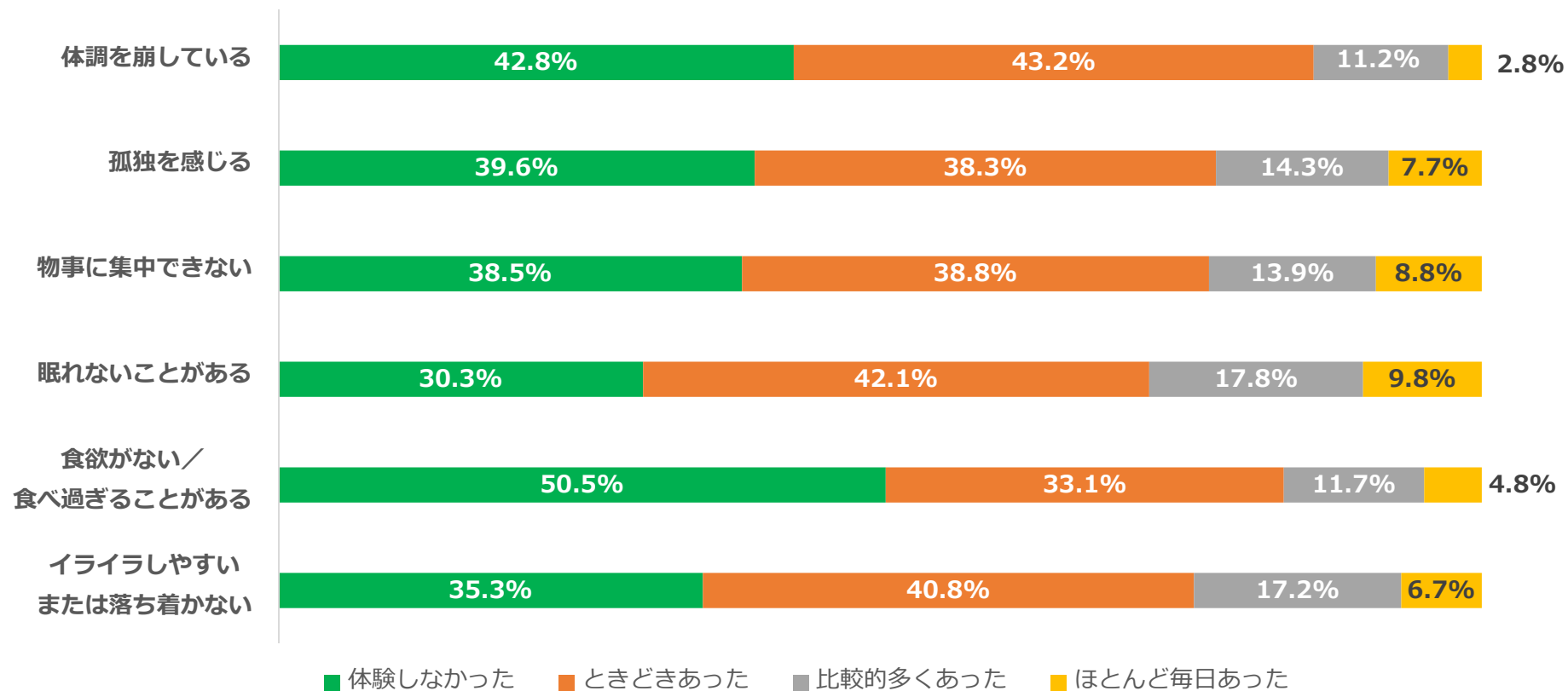
### 給付金、生活物資の提供以外で、必要な支援は何ですか。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

## アンケート結果：本人の状態

### ここ2週間の状況であてはまるもの

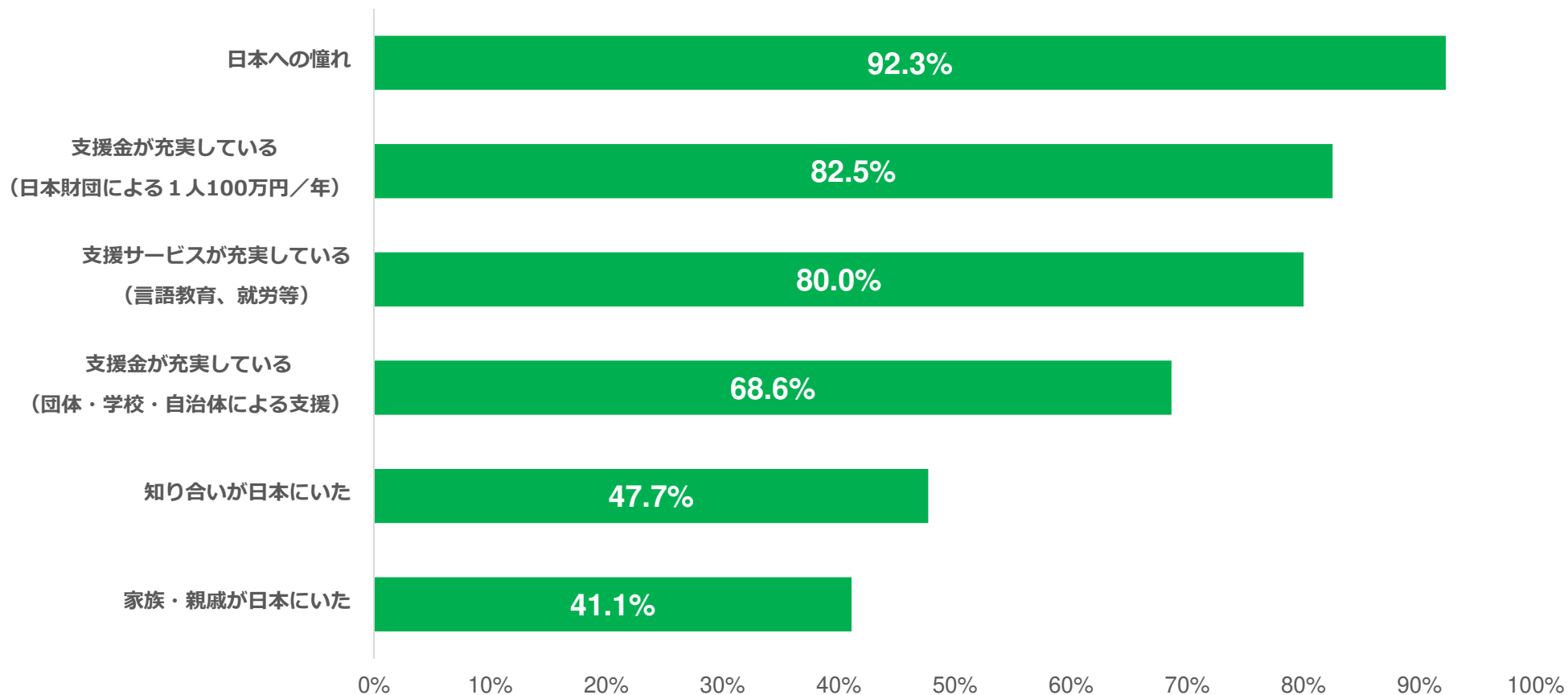


※「イライラしやすいまたは落ち着かない」の項目については、第1回、第2回時点の結果と顕著な差が見られるが、ウクライナ語訳を修正したことによるもの

アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

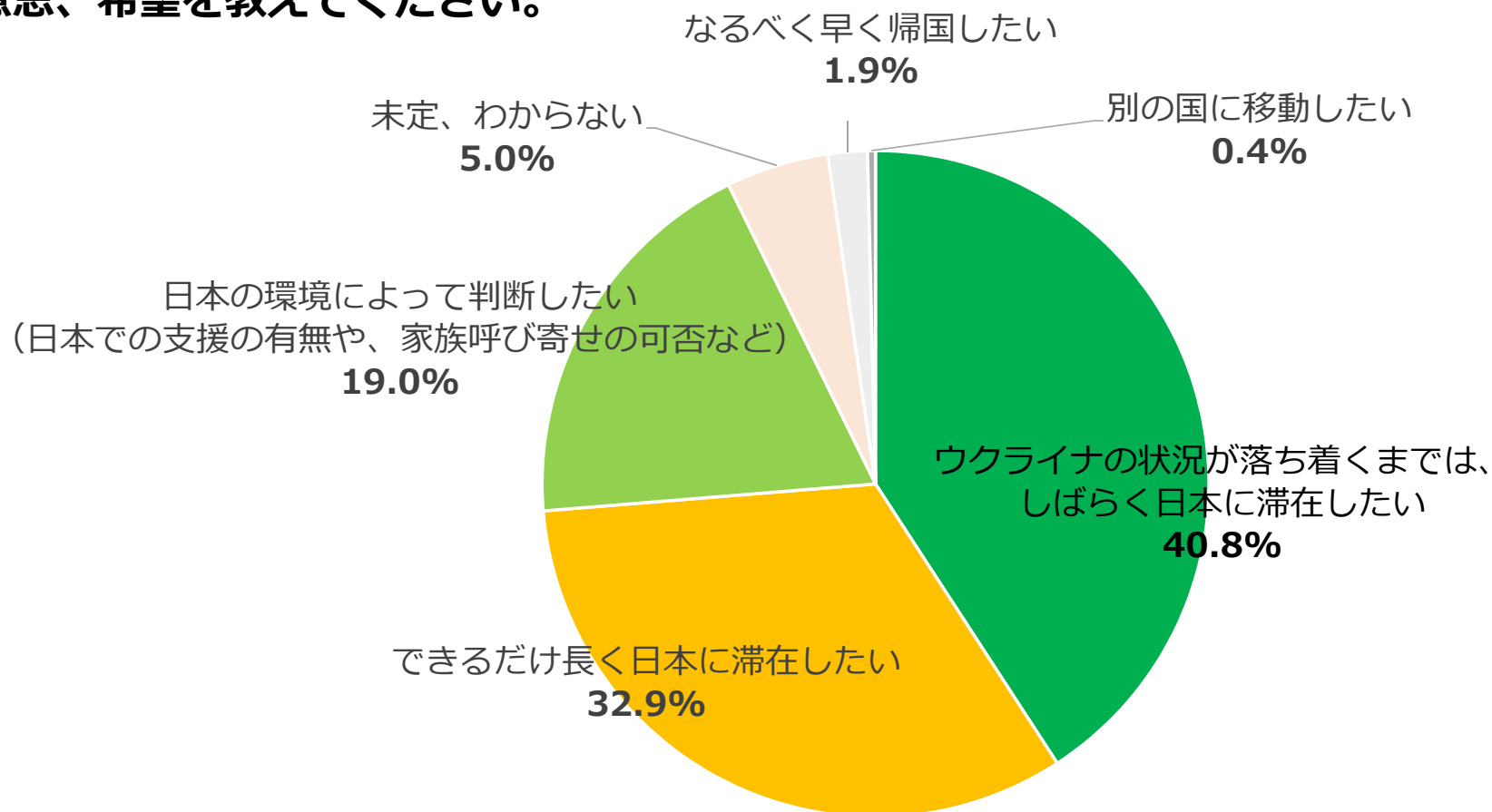
## アンケート結果：日本を選んだ理由

日本を選定した動機について、それぞれ動機の強さを教えてください。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

帰国の意思、希望を教えてください。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,046人 実施期間：6月19日～8月30日

## アンケート結果：コメント抜粋

日本に来てそろそろ1年になります。だんだん落ち着いて、生活は充実になりました。日本財団と大学の支援、そして公営住宅の支援があるから勉強に集中ができます。ウクライナの大学と日本の大学で両方同時で勉強しており少し大変です。でも、両方の卒業を目指し、諦めません。（男性／10代／茨城県）

私の生活は大きく変わり、新しい環境に対する考え方も変わった。友達もできたし、教育システムにも慣れたし、コミュニケーションも難しくなくなった。時々、母国からの知らせで新たな感情の波が押し寄せてきますが、ここで私を支えてくれる友人たちのおかげで、ネガティブなことに対処するのが楽になりました。（女性／20代／東京都）

ウクライナの人々の生活環境とサポートにとっても感謝しています。日本に来て本当にラッキーだったと思います。一番うれしいのは、日本人の私たちに対する態度です。日本語を勉強するのはとても大変ですが、通訳なしでコミュニケーションをとりたいと思います。また、年齢と病気のため、肉体的に働くことがすでに難しいので、もっと熟練した仕事を見つけたいと思っています。（女性／50代／兵庫県）

日本での生活は本当に気に入っていますし、将来仕事を見つけるために日本語を学ぶ機会があること、素晴らしい人たちに囲まれていることもとても幸せです。（女性／20代／沖縄県）

日本人の中にたくさんの新しい友人を見つけ、彼らの助けには驚かされました。日本は私の第二の故郷になりつつあると感じています。今、私の子供たちは戦争を見聞きすることなく育っています。ありがとうございました。（女性／30代／鹿児島県）

日本はとても穏やかで、安全で、面白い。日本がウクライナ人に援助してくれるのはうれしい。ストレスを解消し、次に何をすべきかを考えるのに役立つ。そのお返しとして、日・ウクライナ関係の発展にも投資できればと思っています。（女性／20代／神奈川県）



## アンケート結果：コメント抜粋（課題）

今のところ、一番の問題は言葉と仕事を見つけることです。独学で日本語を勉強していますが、明らかに不十分なこともあります。IT企業で働きたいと思っていますが、日本語の知識が乏しいので、まだ実現できていません。（女性／20代／東京都）

9月に公営住宅で住める期限が切れ、延長はできるかどうかまだわかりません。それで最近悩んでいます。（男性／10代／茨城県）

子供がいるので、街中の治安の良さにはとても満足している。しかし、家族を養う心配がないように、日本で安定した仕事を見つけることが難しいという事実を悲しく思っています。（男性／40代／埼玉県）

日本での生活はとても気に入っていますが、私たちの街にはウクライナ人がいないのでとても寂しいです。（女性／40代／群馬県）

日本語能力試験の準備のためにもっと勉強するように言われます。これは私の精神状態に大きな影響を与え、自分をコントロールするのが難しく、集中できないこともあります。（女性／20代／静岡県）

病気を患っており、診察の際の医師との会話の仕方がわからない。（女性／60代／千葉県）

日本語学習はどのコースも短期間で次の学年がないので、もっと上のレベルのコースや、コースを受けながら就職の支援といったサポートが欲しいです。（女性／30代／東京都）